

敬老の日でスタッフ爆笑演芸会

ひびき通信

平成 29 年
10 月版

渥美清と石川さゆり・昭和の 2 大スターがやってきた

デイサービス響で、敬老の日になんだ「スタッフ演芸会」がこのほど開催されました。ご利用者たちは、毎年恒例となった特製の「松花堂弁当」で腹ごしらえをした後、職員たちの歌あり、踊りありの熱演に大盛り上がり。楽しい一日を過ごしました。

「男はつらいよ」の寅さん登場

威勢のいい啖呵売に「よ、まるでとらさん」

四谷、赤坂、
麴町。
ちゃらちゃら
流れる
お茶の水



そして
笑う門には
福来る

戻れなくても
もういいの～
くらくら
燃える
火をくぐり～



天城越えで踊る「さゆりちゃん、そっくり」

今年の演芸会には、昭和の大スター渥美清の「寅さん」と演歌の女王「石川さゆり」のそっくりさんが登場。まず、石川さゆりに扮したスタッフが大ヒット曲「天城越え」にあわせて妖艶な舞を披露しました。

続いて映画「男はつらいよ」の主人公・車寅次郎ことフーテンの寅さんが、トレードマークの帽子と腹巻き、雪駄履き姿でふらりと姿を現し、得意の啖呵売を披露。「今日は儲けはいらぬ。安くしちゃうよ。さあ、まかった数字が一つ。物の始まりが一ならば、国の始まりは大和に国、島の始まりは淡路島、泥棒の始まりが石川五右衛門なら・・・」。威勢のいい売り口上に、ご利用者たちは、「まるで寅さん」と拍手を送っていました。

演芸会の締めは「泥鰯すくい」 名人芸に拍手喝さい

演芸会の締めは、八木節の泥鰯すくい。法被、股引姿に頬かむり、五円玉を鼻の頭につけ、腰に籠をぶら提げた職員が登場するとご利用者たちからは「よ、待ってました」と歓声。お囃子にあわせて滑稽に踊るスタッフの熱演に、会場からは「名人芸」と拍手が送られました。

敬老の日の恒例となったランチは、松花堂弁当です。今年も銀杏やしめじを炊き込んだ萩ご飯に天ぷらの盛り合わせや秋鮭の照り焼きなどボリューム満点。おやつには、中野島の老舗和菓子店「ほし乃」特製の寿まんじゅうも平らげて、ご利用者たちは楽しく、おいしい一日に笑顔を見せていました。

グループホームで運営推進会議 「0157の予防策」をテーマに意見を交換
グループホーム響で運営推進会議が行われました。会議には、ご家族の方や地域の方など十名が参加しました。ご利用者の近況報告が行われたあと、「医療保険制度の改定」と「0157の予防方法」について意見を交換しました。スパーで販売された惣菜から0157の感染が広がったニュースを踏まえながら、予防策を確認しました。

ひびき通信は、在宅サポートセンター生田が発行する月刊情報紙です。

発行日：2017年10月1日

発行者：岸 忠宏

発行所：日本ケア創造株式会社

住所：川崎市多摩区栗谷 4-6-13

介護のことなら在宅サポートセンター生田へ

デイサービス響

居宅介護支援事業所 響

グループホーム響

宅老所「ほっと生田」